

平成18年度 伊丹市行政評価 ～事務事業評価編～

※事務事業名に【新規】の表記があるものは、H18年度から新たに開始された事業、【未実施】の表記があるものは、「これから5年間のまちづくりプラン」に位置付けがあり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。
※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。

事務事業コード	133303		あり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。 ※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。												
事務事業名	伊丹朝鮮初級学校助成事業						担当部局・課	教育委員会学校教育部 学校教育担当				評価結果 B 上位施策に対する貢献度はやや高く、効率性を点検した上で継続する。 上記評価結果は、事務事業の活動状況などに関する評価に同一施策内での各事務事業の相対的な評価等を加味して総合的に評価したものです。			
事業内容	伊丹朝鮮初級学校の初級部・幼稚園部にそれぞれ年額50万円を助成する。 伊丹朝鮮初級学校より提出される教育振興にかかる事業計画書等をもとに補助金を交付する。						事業開始(予定)年度								
							昭和50年度								
							事業終了(予定)年度								
						—									
この事業の上位施策	これから5年間のまちづくりプラン	視点	支え合いでつくる「安全・安心」のまちを実現												
		項目	きめ細かな地域福祉の推進												
		施策	多文化共生のまちづくりの推進												
	⇒「これから5年間のまちづくりプラン」は、「第4次伊丹市総合計画」の後期5か年(H18～22年度)に計画的に取り組むべき具体的事業等を明らかにした事業実施計画です。 行政評価の実施にあたっては、各事務事業をこの計画体系に沿って整理しています。														
事業の目的	伊丹朝鮮初級学校（初級部及び幼稚園部）における教職員研修費、教材園具等の整備・充実及び事務費等の一部を助成し、伊丹朝鮮初級学校の振興を図る。						予算費目 (複数の費目にまたがる場合は、主な費目を表示しています。)	(款) 教育費 (項) 教育総務費 (事項) 就学園奨励援助費 (目) 教育指導費							
事業費等の概算	平成17年度(決算)						平成18年度(予算)								
	事業費	1,000千円	財源内訳				事業費	1,000千円	財源内訳						
			国・県補助金等		—				国・県補助金等		—				
			市 債		—				市 債		—				
			その他(使用料等)		—				その他(使用料等)		—				
	一般財源(市税等)		1,000千円		一般財源(市税等)		1,000千円								
	投入人員	0.01人	⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。 =担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)				投入人員	0.09人	⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。 =担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)						
	人件費	86千円	⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。				人件費	771千円	⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。						
経費合計	1,086千円					経費合計	1,771千円								
活動指標	指標名(単位)	申請校園数（校園）					計画と実績	年度 区分	H17年度	H18年度					
	意味・算式等	申請校園数						計画値	2	2					
								実績値	2						

評価結果	B
	上位施策に対する貢献度はやや高く、効率性を点検した上で継続する。

上記評価結果は、事務事業の活動状況などに関する評価に同一施策内での各事務事業の相対的な評価等を加味して総合的に評価したものです。